

☆ JBN 外0437 (産業、医療) (06・4・13)

【産業担当デスク殿】 22038

◎ 2600万ユーロの資金調達完了 仏ノバガリ・ファルマ

【エブリー (フランス) 12日PRN=共同JBN】眼科用の新薬を開発しているフランスのバイオ製薬会社ノバガリ・ファルマ (Novagali Pharma SA)は12日、新規および既存の投資家が参加した2600万ユーロの新規資金調達を完了したと発表した。今回の調達額を含め同社の発足以来の資金調達額総計は4400万ユーロになった。ノバガリ・ファルマの投資家グループ、1・2・3マルチノバ、オーリガ・パートナーズ、CDCエンタプライズ・イノベーション、クレジ・アグリコール・プライベート・エクイティ、エドモンド・ド・ロスチャイルド・インベストメント・パートナーズ、CDCエンタプライズが経営するFCJE社、FPゲスチョンとシパレックス・ベンチャーズに、新たにAGFプライベート・エクイティとベルナール・ショバンが加わった。

ノバガリ・ファルマのジェローム・マルチネス社長兼最高経営責任者 (CEO) は「投資家が当社とその製品に新たな信頼感を寄せてくれたことを非常に喜んでいる。今回のシリーズCの資金調達により、非常に有望なプロジェクトを推進し、その中で来年末までに商業化が実現しそうなプロジェクトに備えることが可能になる」と言明した。

ベンチャーキャピタル企業、AGFプライベート・エクイティのレミ・ドローラ氏は「ノバガリを眼科用薬剤の分野で誰もが認める企業にするために、新規株式公開に先立ち今回の資金調達の主幹事を務めたことを大きな誇りに思う」と述べている。

ノバガリ・ファルマは、開発の最終段階でさまざまな製品で重要なパイプラインを構築するために役立つ陽イオン乳液 (カチオン系エマルジョン) をベースとする、特許取得済みの独自の技術プラットフォーム「ノバソープ (Novasorb、商標)」を保有している。同社はドライアイ治療用として、欧州と米国で「カチオノーム (Cationorm、商標)」 (Nova23006/33) の登録準備を進めている。これと並行して、免疫抑制剤シクロスポリン (Cyclosporine) A カチオン系エマルジョン、Nova22007 の第3相臨床試験が行われており、Nova21027 の緑内障治療のための第2相臨床試験が開始される。

今回の資金調達により、ノバガリ・ファルマは臨床試験の経費を工面し、眼球内および眼周囲の薬剤送達新技術「アイジェクト (Eyeject、商標)」などの開発プロジェクトや、網膜症を含む研究プログラムを促進することができる。

この調達資金で、同社は独自にあるいはパートナーとともに、最終的に製品の商業化を図ることを見込んだ体制づくりで柔軟性を獲得する。

▽ノバガリ・ファルマ (<http://novagali.com>) について

ノバガリ・ファルマは眼科専門のバイオ製薬会社で、あらゆる分野の眼科の革新的な製品を開発している。同社は2000年の創設で、1・2・3・マルチノバ、AGFプライベート・エクイティ、オーリガ・パートナーズ、ベルナール・ショバン、CDCエンタプライズ・イノベーション、クレジ・アグリコール・プライベート・エクイティ、エドモンド・ド・ロスチャイルド・インベストメント・パートナーズ、FCJE、シパレックス・ベンチャーズなどから総額4400万ユーロの投資を受けている。

プレス関係連絡先

Genevieve Garrigos, +33(0)6-82-85-58-99, genevieve.garrigos@novagali.com